【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成19年8月23日(2007.8.23)

【公表番号】特表2004-514753(P2004-514753A)
【公表日】平成16年5月20日(2004.5.20)
【年通号数】公開・登録公報2004-019
【出願番号】特願2002-545065(P2002-545065)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｊ　3/14　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　61/12　(2006.01)
Ｃ０８Ｌ　65/00　(2006.01)
Ｃ０８Ｌ　101/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｊ　3/14　ＣＥＺ
Ｃ０８Ｇ　61/12
Ｃ０８Ｌ　65/00
Ｃ０８Ｌ　101/00

【誤訳訂正書】
【提出日】平成19年7月5日(2007.7.5)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】特許請求の範囲
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　繰り返しチオフェン単位を有するポリマーＴおよび少なくとも１個の他のポリアニオンポリマーＰを有する分散液または溶液を水と共沸混合物を形成する化合物と混合し、共沸蒸留により水を除去し、得られたポリマーを単離し、乾燥する、主に繰り返しチオフェン単位を有するポリマーＴおよび少なくとも１個の他のポリアニオンポリマーＰを有する分散性粉末を製造する方法。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１４】
分散性粉末を製造する有利な方法は、繰り返しチオフェン単位を有するポリマーおよび少なくとも１個の他のポリマーＰを有する分散液または溶液をポリマーが溶解しない有機沈殿剤と混合し、ポリマーが沈殿するまで沈殿剤を添加し、引き続き単離し、乾燥することを特徴とする。
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１６】
分散性粉末を製造する他の有利な方法は、繰り返しチオフェン単位を有するポリマーおよび少なくとも１個の他のポリアニオンポリマーＰを有する分散液または溶液を塩と混合

し、ポリマーが沈殿するまで塩の添加を継続し、引き続き単離し、乾燥することを特徴とする。
【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００５６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００５６】
例１
実質的に繰り返しチオフェン単位を有するポリマー粒子およびポリスチレンスルホン酸を有する分散液を、欧州特許第０４４０９５７号明細書の３頁１５行目から４頁１６行目に記載されるように、ポリスチレンスルホン酸の存在でエチレンジオキシチオフェンの酸化重合により製造する。分散液を、トルエンと、共沸蒸留で水を除去するために適当な割合で（８０：２０）混合する。この目的のために、分散液６０.６ｇをフラスコ中でトルエン２４０ｇと一緒に撹拌し、水／トルエン共沸混合物を８４.１℃の温度でフラスコになお粉末状残留物が残るまで蒸留分離する。残留物をフラスコからメタノールを用いて洗浄し、メタノールを吸引濾過により除去し、得られた湿った粉末を室温で１２時間乾燥した。得られた粉末は残留湿分約１８％を有した。